

学園通信

2023.6
Vol.13



学校法人 名古屋電気学園

愛知工業大学

愛知工業大学名電高等学校

愛知工業大学名電中学校

愛知工業大学情報電子専門学校

経営

情報

AIT 愛知工業大学

AIT

AIT
welcome

機械

建築

土木

探究心は
止められない!

|| 巻頭特集 || P01

卒業生が贈る
笑顔と一言メッセージ

|| 巻頭特集 || P03

愛知工業大学 名電高等学校
それぞれの卒業後の進路

【表紙】 八草キャンパス最寄り駅の大学常
設看板デザイン。今年度も学生から募集し、
こちらの作品が選ばれました。

※今号の学生・生徒の所属・学年は取材当時のものです。



3月23日(木) 卒業証書・学位記授与式

愛知工業大学

令和4年度卒業式 卒業生が贈る 笑顔と 一言メッセージ

今年も名古屋電気学園の各校で卒業式が行われました。卒業生の皆さん、おめでとつございます！今回の巻頭特集では、卒業生の皆さんからいただいた一言メッセージを紹介します。皆さんの思い出を胸に新たな一歩を踏み出した皆さんの笑顔と一言をご紹介します。



情報科学部
情報科学科
メディア情報専攻 **夏井 友里花さん**
Q③
専門学校からの3年次編入で、わからないことを積極的に尋ねる姿勢が身に付きました。



工学部 土木工学科
土木工学専攻 **清水 裕貴さん**
Q⑤
一緒に頑張れる友達をたくさん作り協力し合えば、就職活動や卒業研究がきつとうまくいきます！



経営学部 経営学科
スポーツマネジメント専攻 **江戸 絢音さん**
Q①
卓球選手としてプレーを続け、選手引退後はコーチとして人間力のある選手を育てていきたい。



経営学部 経営学科
経営情報システム専攻 **鏡味 大輝さん**
Q④
ハワイ留学。ヨーロッパ人と英語で交流することができて、自分に自信をもつことができた。



工学部 土木工学科
防災土木工学専攻 **西村 鈴奈さん**
Q②
社会人になってからも努力することを続け、夢でもある一人前の設計士を目指したいです。



情報科学部 情報科学科
メディア情報専攻 **丹羽 佑成さん**
Q②
ただ仕事をするのではなく、新しいことにもチャレンジし、多くのスキルを身に付けていきたい。



経営情報科学研究科
博士前期課程
経営情報科学専攻 **安 素羅さん**
Q④
カナダで開催された国際会議(SIGGRAPH)にポスター発表で参加したことです。



工学研究科 博士前期課程
電気電子工学専攻 **浅田 拓末さん**
Q④
「COBOTTAアイデアチャレンジ」で最優秀賞を受賞。2022年「国際ロボット展」にも出展。

3月1日(水) 卒業証書授与式

名電高等学校



普通科
中高一貫コース **吉田 ずずなさん**
Q④
勉強だけでなく、遊びも本気で！高校生の体力は無限です。やりたいことはすべてやりましょう。



普通科
中高一貫コース **村上 雅明さん**
Q②
体育祭の団長をしたこと。大変でしたが、みんなに支えられ最高の思い出を作ることができました。



科学技術科 **中島 香琳さん**
Q①
学校生活や部活などを通じて、この先も大切にしたいと思える仲間に出会えたこと。



情報科学科 **富岡 千遥さん**
Q②
ボランティア活動です。幅広い世代の方々と交流したことで、協調性を得ることができました。



普通科
普通コース **城所 研甫さん**
Q③
大学で都市環境を学びます。再生可能エネルギーの視点から地球温暖化対策に貢献したいです。



普通科
選抜コース **吉田 紗穂さん**
Q③
大学で生命科学を学びます。生き物を詳しく学ぶことで創薬の開発につなげられる研究をしたい。



普通科
スポーツコース **鈴木 颯さん**
Q④
ムダな時間なんてありません。与えられたことを一所懸命、楽しみながら取り組んでください。

Q 大学卒業生の皆さんに、5つの質問の中から1つに答えていただきました。

- Q①** あなたの「夢」はなんですか？
- Q②** どんな社会人になりたいですか？
- Q③** これまでの大学生活で学んだこと、得たものは？
- Q④** 大学生活で一番の思い出は？
- Q⑤** 後輩に一言！

Q 高等学校卒業生の皆さんに、4つの質問の中から1つに答えていただきました。

- Q①** 学生生活で得たものは？
- Q②** 学生生活で一番の思い出は？
- Q③** 今後の目標は？
- Q④** 後輩に一言！

▶詳細な情報はこちら <https://www.ait.ac.jp/career/career-status/>

長年の実績で希望の進路を実現するキャリア支援。
学生一人ひとりが自分の能力・適正に応じた進路が選択できるよう、低学年からサポートします。



実就職率 2023年 3月卒業生	
大学全体	98.6%
工学部	99.0%
経営学部	98.6%
情報科学部	97.0%

※2023.04.18現在
実就職者率=就職者÷(卒業者+進学者)

【工学部・電気学科】
アイシン、豊田合成、スズキ、トイエネットワーク、シーテック、クラレ、キオクシア、シャープ、富士ソフト、アイホン、パツファロ、敷島製パン、日東工業、萩原電気ホールディングス、デンソーテクノ、デンソーウェーブ、デンソーエレクトロニクス、シミズ工業、小島プレス工業、SKV、鹿島建設、マスプロ電気、愛知時計電機、パナソニックスイッチギアシステムズ、碧南市役所、清州市役所 他

【工学部・応用化学科】
シヤチハタ、アドヴィックス、東邦ガス、東亜合成、メニコン、敷島製パン、中北薬品、住友電装、デンソーエレクトロニクス、マクセルレハ、キオクシア、共和レザ、HOWA、セルソース、富士特殊紙業、富士フィルムメディカル、野村マイクロ・サイエンス、スギ製菓、住友電装、日本毛織、春日井市役所、愛知県警察本部 他

【工学部・機械学科】
豊田合成、スズキ、豊田鉄工、シヤチハタ、Mizkan、朝日インテック、アドヴィックス、デンソーテクノ、デンソーテクノ、パイロットインキ、リコーエレクトロニクス、HOWA、CKD、小島プレス工業、豊田ブレイキ工業、フタバ産業、TBエンビアリング、新明工業、日本トレックス、エビデン、五洋建設、トーエネック、中央精機、フジキカイ 他

【工学部・土木工学科】
大成建設、大林組、五洋建設、大豊建設、西松建設、安藤・間、東洋建設、名工建設、銭高組、鴻池組、名古屋鉄道、近畿日本鉄道、矢作建設工業、徳倉建設、T S U C H I Y A、竹中土木、ジェイ・エル東海建設、ヒメノ、中国ハイウェイ・エールジニアリング名古屋、大日本道路、名古屋高速道路協会、オリエンタル白石、シーテック、愛知県庁、名古屋市役所、岡崎市役所、春日井市役所、安城市役所、豊橋市役所、豊川市役所、岐阜県庁、浜松市役所 他

【工学部・建築学科】
清水建設、積水ハウス、大和ハウス工業、住友林業、大成建設、五洋建設、東急建設、西松建設、青島設計、日建設計、矢作建設工業、三井ホーム、セキスイハイム東海、AVANTIA、パナホーム、サララ住宅、東建コーポレーション、生和コーポレーション、クラシスホーム、アサヒグループホーム、トヨタホーム、中電不動産、愛知県住宅供給公社、一条工務店、遠州鉄道、T S U C H I Y A、愛知県庁、名古屋市役所、豊田市役所、安城市役所 他

【経営学部・経営学科】
メニコン、フリースタイルディング、フジパンググループ、パロールディングス、名古屋製酪、日本生命保険相互、萩原電気ホールディングス、富士ソフト、中部テレコミュニケーション、ヒマラヤ、協和キリン、CKD、トヨタ輸送、豊田機工、八神製作所、SHINKO、ビッグモーター、守谷商会、テック、ドコモCS東海、丸美産業、一条工務店、ダイド、旭情報サービス、日立システムズパワーサービス、富士フイルムビジネスイノベーション、防衛省 陸上自衛隊 他

【情報科学部・情報科学科】
NDS、セガ、デンソーテクノ、シエム・シイ、エキサイト、旭情報サービス、システムリサーチ、エスユーエス、デンソーパワートレインテクノロジーズ、パイロットインキ、日本インシュレーション、インテリジェントウェブ、オーカム、フジキカイ、三菱電機システムサービス、笹徳印刷、日本システム開発、小学館ミュージック&デジタルエンタテインメント、岐阜県警察本部 他

令和4年度の就職状況

キャリアセンターでは、主に学部3年生と院1年生を対象に、①就職支援②インターシップ支援③キャリア教育支援④資格取得支援の4つを柱とした「就職力、就業力の強化」のためのプログラムを展開しています。夏季インターシップを機とした早期選考など、就職活動の早期化が加速する中、個々の状況に応じて必要なタイミングで必要な支援を実施し、学生一人ひとりが納得のいく進路を実現できるよう、先生方と緊密に連携して取り組んでいます。

昨年度前期には、自己分析、筆記試験対策のプログラムを、後期からは、業界・企業研究、履歴書作成指導、対面・WEBによる面接練習などのプログラムを展開。また、愛名企業研究会や瑞若会企業研究会を開催し、計1,000以上の企業とのマッチングの機会を提供しました。

2022年3月卒業生の実就職率は97.5%で、卒業生1,000人以上の大学(国公立含む)で全国2位となりました。就職した卒業生のうち480人(約40%)が愛名会法入会企業に就職するなど、愛名会が愛工大生の就活を支える基盤として認知されています。また2023年3月卒業生に対しては、新型コロナウイルス感染症や急激な円安、資材不足など経済への影響が叫ばれる中、1,5501社から求人を出した(前年度同時期より約14%増加)、企業の愛工大生に対する期待値は依然として高くなっています。

学部1・2年生に対しても、社会人基礎力や就職意識の醸成に注力するとともに、キャリア教育の一環として学内企業研究会など業界・企業研究の機会への参加を推奨しています。



▶詳細な情報はこちら <https://www.meiden.ed.jp/outline/data.html>

令和5年度入試合格者一覧
(2023年4月5日現在)

名電高等学校

国公立大学、有名私大にもチャレンジし、目標の大学に進学しています。
掲載大学以外の大学にも、多数合格しています。

国立大学	合格者数	私立大学	合格者数
東京工業大学	1	愛知工業大学	268
名古屋大学	2	早稲田大学	2
東京外国語大学	1	上智大学	1
東京芸術大学	1	東京理科大学	2
名古屋工業大学	7	明治大学	4
名古屋市立大学	4	青山学院大学	1
愛知教育大学	1	中央大学	9
愛知県立大学	3	法政大学	7
愛知県立芸術大学	2	日本大学	4
豊橋技術科学大学	1	東洋大学	6
横浜市立大学	1	専修大学	1
鉦路公立大学	1	駒澤大学	2
高崎経済大学	1	関西大学	12
信州大学	4	関西学院大学	13
岐阜大学	5	同志社大学	15
三重大学	2	立命館大学	41
三重県立看護大学	1	京都産業大学	10
静岡大学	4	近畿大学	30
静岡県立大学	2	甲南大学	10
静岡文化芸術大学	1	龍谷大学	1
富山大学	4	南山大学	40
金沢大学	1	愛知大学	30
金沢美術工芸大学	1	中京大学	35
滋賀大学	3	名城大学	70
大阪教育大学	1	愛知学院大学	2
大阪公立大学	1	愛知学院大学	53
兵庫県立大学	1	愛知淑徳大学	31
神戸市外国語大学	1	金城学院大学	20
和歌山大学	1	福山女学院大学	12
岡山大学	1	大同大学	2
広島大学	1	中部大学	21
広島市立大学	1	豊田工業大学	2
鳥取大学	2	名古屋外国語大学	34
鳥根大学	1	名古屋学院大学	21
山口大学	1	日本福祉大学	29
香川大学	1	藤田医科大学	3
鹿屋体育大学	1		

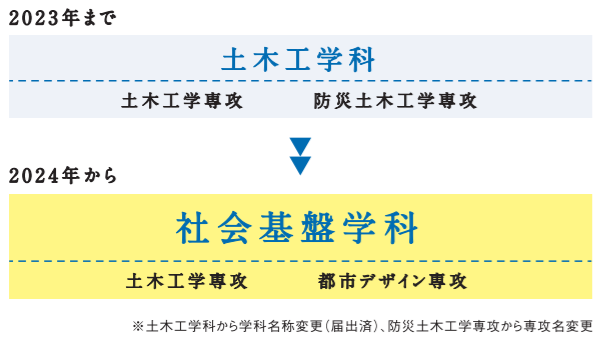


2024年4月 土木から社会基盤へ。

2024年4月、土木工学科は「社会基盤学科」に名称変更し、防災土木工学専攻は「都市デザイン専攻」に改編いたします。

土木工学の分野はこれまで、社会基盤となるインフラを構築することを主としてきました。しかし近年は、自然環境の保全や防災、地中、海洋、エネルギー開発にも広がっており、自然との調和や資源の有効利用をめざした持続可能な技術の開発、情報社会の高度化にもあいまって、まさしく社会基盤のすべてを扱う学問分野となっています。

社会基盤学科は、これらに対応した教育を行い、工学的な知識・情報・分析・解析などを活用し、インフラの計画・構築・維持を担うことの出来る人材の育成を一層めざします。



土木工学専攻

持続可能な未来社会を実現するためのインフラ構築を主眼に研究

「社会基盤」をキーワードに、持続可能な未来社会の実現につながる企画・設計・施工を学びます。構造、河川・環境、地盤、材料、計画の専門領域をバランスよく学修。測量実習、土木実験、少人数セミナーにより、土木の仕事に不可欠なチームワークを身につけます。



都市デザイン専攻

土木工学の知識をもとに工学的見地から計画・構築・維持・防災・環境を研究

安全で暮らしやすいまちづくりに向けて、土木工学の基礎である、土質・構造・水理・材料・計画をもとに、工学的見地から社会基盤の計画・構築・防災・環境等に係る技術者をめざします。



名古屋電気学園だより



年度始めの挨拶をする後藤泰之理事長・学長

大学の令和5年度始め式は4月3日、八草キャンパス10号館大講義室で開かれました。挨拶に立った後藤泰之理事長・学長は、創立111周年を迎える学園が一貫して担ってきた「ものづくり教育」を柱とする人材育成に触れて、「これからも『愛工大に来てよかった』『名電高に来てよかった』と、学生・生徒が誇りに思う学校にしていく」と、思いを語りました。

4月から大学に設置した大学戦略企画室について、18歳人口の減少や高等教育の新たな方向性など私学を取り巻く環境が目まぐるしく変化している状況を踏まえ、「コアのメンバーに加えて各部署からテーマによって新しいメンバーが入り、迅速かつ慎重に諸課題の解決に向けて対応していく」と説明しました。そのうえで、「今年度も社会のニーズに対応した実践的な

令和5年度始め式

後藤泰之理事長らが辞令を交付し、「それぞれ責任ある立場で学生を育てていただきまし

定年退職者27人に
辞令交付式で
労をねぎらう

学園の令和4年度定年退職者辞令交付式は、3月20日に若水南校舎(高校・中学教員)、同24日に専門学校(専門学校教員)、同28日に八草キャンパスA17プラザ(大学教員・事務職員)で、それぞれ開かれました。大学教員14人、高校・中学教員4人、専門学校教員1人、事務職員8人の合わせて27人が、3月31日付で定年退職しました。

この後、新規任命者、新任・昇任教職員の紹介や、学長賞の表彰がありました。

教育を推進する。大学を中心に各設置校間の一貫教育をより一層推進し、教育機関としての社会的使命を全力で果たす」と述べ、教職員の結束を呼び掛けました。

け、学園が一層発展されることを祈念します」と謝辞を述べました。



定年退職した専門学校の田中正史先生(左)

定年退職の皆さん

大学教員 14人

青木道宏、釘宮慎一、飯島信司、高木誠、牧野教、杉野丞、安井秀夫、中條直也、藤井勝紀、隅山孝夫、阿部幸一、柳井裕道、チャールス・ケリー、村瀬洋

高校・中学教員 4人

野崎敏広、白井俊哉、小川明広、木村洋子

専門学校教員 1人

田中正史

事務職員 8人

森島茂樹、廣田憲治、山本啓二、林葉子、間瀬好康、加藤直美、小島雅子、山里静子



定年退職の皆さん(大学教員)



定年退職の皆さん(事務職員)



定年退職の皆さん(高校・中学教員)

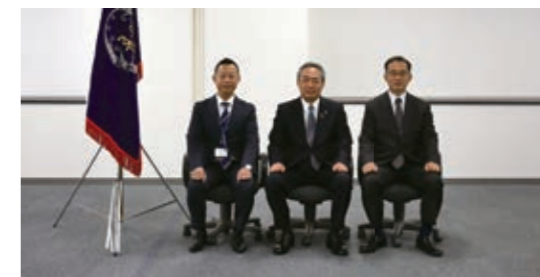
令和5年度の
新体制がスタート

名古屋電気学園は4月1日、組織変更と人事異動を行い、令和5年度の新体制がスタートしました。

主な組織変更としては、①大学の将来計画を戦略的に検討するため、大学に「大学戦略企画室」を設置する②業務の円滑化のため、教学センター内の学生サービスクラップとクラブ活動支援グループを統合する③教学センターと入試センターが連携して学生サービスの向上に寄与する体制をとるため、学習支援センター事務を、基礎教育センター事務局から教務・学生サービス課に移管し、教務・学生サービス課内に学習支援センターグループを設ける④関係各所との連携を密にするため、八草キャンパス内の学部・学科事務を統合し、八草キャンパス事務局を新設するとします。さらに6月1日付の組織変更・人事異動を予定し、情報緊密



任命の大学教員



任命の高校教員



昇格の大学教員

化や業務円滑化に努めます。

学園の辞令交付式は4月3日、八草キャンパス本部棟で、新規採用者、任命・昇格者の順に行われました。新規採用者は大学教員11人、高校教員6人、中学教員1人、事務職員2人の合わせて20人です。任命は大学教員9人と高校教員1人、昇格は大学教員7人です。学園理事らが立ち会い、一人ひとりに後藤理事長から辞令が交付されました。

新規採用者

大学教員



田岡紀之教授(電気学科) 廣田真史教授(機械学科) 山本貴史教授(情報科学学科) 松本耕二教授(基礎教育センター)



金岡英徳准教授(応用化学学科) 小川登志男准教授(機械学科) 清水隆宏准教授(建築学科) 佐藤僚講師(基礎教育センター)



リファクトリー・アラム講師(基礎教育センター) 津坂亮博助教(電気学科) 武山祐樹助教(経営学科) 竹内勲教諭



加藤伸夫教諭 渡辺範人教諭 大西淳子教諭 林峰裕教諭



荒川喜明教諭 遠山翔大教諭 上田弘(事務職員 グループリーダー(教務・学生サービス課 教務人事課安全管理グループ)) 長谷川晶事務職員(教務・学生サービス課 学生サービスグループ)

任命

大学教員 9人

津田紀生教授(工学部長)、後藤時政教授(経営学部長)、森本正志教授(情報科学部長)、高木淳教授(基礎教育センター長)、石井成美教授(大学戦略企画室長)、鳥井昭宏教授(教学センター長)、内田敬久教授(キャリアセンター長)、中村豪教授(学習支援センター長)、松河剛司准教授(教学センター副センター長)

高校教員 1人

日詰彰則教諭(教頭)

昇格

大学教員 7人

村田剛志教授(応用化学科)、香川高弘教授(機械学科)、野澤英希教授(建築学科)、内藤克浩教授(情報科学科)、小出禎子教授(基礎教育センター)、川口暢子准教授(土木工学科)、小栗真弥講師(情報科学科)



学園だより

AIT 名古屋電気学園ニュース [大学]

名古屋電気学園 ロボット交流会

愛知工業大学、愛工大名電高校、愛工大名電中学、本山口ロボット教室で取り組むロボット教育の意義と楽しさを伝える第9回名古屋電気学園ロボット交流会が2月18日、学園の淳和記念館(名古屋市千種区



知識と技術を競った自律型ロボット競技会

若水三丁目)で繰り広げられました。コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となった今年は、自律型ロボット競技会(レスキューコー

ス)に小学生、中学生、高校生の41人が参加しました。競技は、被災地に見立てた白色パネル上のコースで行われ、大学生やボランティアの高校生が審判・副審を務めました。参加者たちは、坂道などの難所を踏破して目標(被災者)に向かうロボットを真剣に見守り、得点を競いました。

競技会と併せ、高校の専門学科1年生によるロボットデザ

後藤すゞ子先生奨学金を交付

学園が制定する「後藤すゞ子先生奨学金」が、3月30日に工学部の学生へ交付されました。

奨学金は、元学園長の後藤すゞ子先生の遺志に基づいて設けられ、親の死去など思いがけない理由で学資の負担が難しくなった設置校の学生、生徒が学業を継続できるよう支援するものです。八草キャンパス本部棟で交付があり、後藤泰之理事長が奨学金の趣旨を説明して



3月30日の交付

「しっかりと自分の道を進んでください」と学生を激励しました。

インコンテストも開かれました。自律型ロボット競技会の各クラスの優勝者は次の皆さんです。

日本リーグレスキューラインエントリ

- 小学生初参加クラス / ①おーびー(中山聡)
- 小学生経験者クラス / ①Kマンモス(土肥広太郎)
- 中学生初参加クラス / ①タイヤキ(戴泓毅)
- 中学生経験者クラス / ①名電中イトウ(伊藤祐貴)

ワールドリーグレスキューライン

- 中学生クラス / ①名電中ワタナベ(渡邊海篤)
- 高校生クラス / ①P-logic(松永育也)

95人が卒園

姉妹学園・あいわ幼稚園(名古屋市名東区)の第57回卒園式は3月18日に開かれ、95人が思い出がいっぱいに詰まった園舎を後にしました。

お祝いで登園した子どもたちが、後藤泰之園長から修了証書を受け取りました。後藤園長は、楽しかった思い出を振り返りながら、子どもたちに「元気いっぱい小学生になることを楽しみにしています」と励ましの言葉をかけました。



修了証書を受け取る子どもたち

あいわ幼稚園に 77人が仲間入り

名古屋市長東区姉妹学園・あいわ幼稚園で4月8日に入園式があり、77人の子供たちが新たに仲間入りしました。

コロナ禍を超え、4年ぶりに新入園児全員と保護者がそろっての入園式となりました。晴れやかな表情の子供たちに向かって、後藤泰之園長は「毎日元気よく幼稚園に通ってきてください。先生たちは皆さんに会えることをとても楽しみに待っています」と、優しく語りかけました。



77人が新たに仲間入りした入園式

令和4年度卒業証書・学位記授与式

大学の令和4年度卒業証書・学位記授与式は3月23日、八草キャンパスで鉦徳館で行われました。国歌演奏の後、晴れやかな表情の若者たちに後藤泰之学長から卒業証書や学位記が授与されました。

大学院博士學位記が、工学研究科の小久保佳亮さんと津坂亮博さん、経営情報科学研究科の武山祐樹さんにそれぞれ授与されました。続いて大学院修士學位記が、工学研究科修了生95人の総代兵藤京香さんと経営情報科学研究科修了生32人の総代安素羅さんにそれぞれ授与されました。学部生に対する卒業証書・學位記は、工学部948



卒業証書を受ける総代ら

愛知工業大学ニュース



人を代表して辻本竜也さん、経営学部148人を代表して木森健太さん、情報科学部181人を代表して横山奈南さんに手渡されました。

後藤泰之学長は式辞の中で、戦争、感染症、地球温暖化など昨今の簡単に克服できない状況に触れて、「持続可能な社会の発展を目指すなら、(建学の精神である)自由・愛・正義は同時に実現すべき目的」と、新し

い時代を担う卒業生たちに期待する言葉を投げかけました。

学園賞、同窓会瑞若賞、後援会賞の表彰の後、卒業生を代表して松井龍登さんが「自身のより一層の向上に努め、愛知工業大学卒業生としての自覚と自信を持ち、社会に貢献いたします」と謝辞を述べました。式典の様子は、インターネットの特定のURLから限定配信されました。



式辞を述べる後藤泰之学長

謝辞を述べる松井龍登さん

学部1年は1554人 愛知工業大学 令和5年度入学式

大学の令和5年度入学式は八草キャンパス鉦徳館で開かれ、工学部、経営学部、情報科学部の3学部に合わせて1554人、大学院工学研究科と経営情報科学研究科に合わせて115人が入学しました。また学部3年次への編入は21人でした。

後藤泰之学長は式辞で、建学の精神「自由・愛・正義」と教育のモットー「創造と人間性」が現代社会で意味するものに触れ、「すべての取り組みの基本となるのが、



式辞を述べる後藤泰之学長



新入生を代表して宣誓する水野拓真さん

皆さんの『やる気』と『元気』です。それぞれの目標に向かって果敢にチャレンジしてください」と呼び掛けました。これにこたえ、新入生代表の水野拓真さんが「本学の学生たることを誇りとし、学生としての本分を全うすることを誓います」と宣誓しました。式典の様子は、ライブ配信で別会場や遠方の新入生の家族らに届けられました。



f 学内イベントや研究室の様子など愛知工業大学の様々な情報を発信しています。



YouTube 愛知工業大学の公式チャンネルもご覧ください。

University NEWS

2氏1チームに 学長賞

大学の令和4年度学長賞は4月3日の年度始めの席上、服部洋児教授、井沢清人研究支援本部兼地域連携・SDGs推進本部事務長、東京ゲームショウチームの2氏と1チームに対して後藤泰之学長から贈られました。

◆服部洋児経営学科教授
2012〜2021年度の10年間にわたり入試センター



前列中央の後藤泰之学長を挟んで、服部洋児教授(右)、井沢清人事務長(左)、後列の右から小栗真弥講師、松河剛司准教授、水野慎士教授

長としてセンターの運営、学生募集戦略の改善・立案、入試難易度の向上と維持、入学者の安定的確保に貢献しました。センター長在職中は、2012年度に約7500人だった志願者が、2021年度には約16000人と倍増し、併せてオープンキャンパスの参加人数は3倍以上の増加と、安定した志願者の基盤を築きました。この間、高等学校長の退職者で構成した渉外専門組織の編成、一般選抜入学者を安定的に確保する新たな入試方式の導入、本学のブランディング化を反映した推薦入学者の安定的な確保など、入試広報業務を通じて本学の発展に寄与しました。

◆井沢清人事務長

日本高等教育評価機構の評価員を3期9年間の務め、昨年度は評価チームの長を担当しました。2023年度から4期目として評価員を継続することが決定し、4期にわたる評価員は本学で初めてです。学内の運営でも、研究支援本部と地域連携・SDGs推進本部の2つの部署の事務長としており、本学の「研究」、

「社会貢献」で重要な職務を担当。2022年度の私立大学改革総合支援事業で、地域連携・SDGs推進本部が主に担当する「タイプ3」、研究支援本部が主に担当する「タイプ4」について責任者を務め、基準となる設問の変更に柔軟に対応し、どちらも採択されました。現在、大学後援会の事務局長も務め、多岐にわたり活躍しています。

◆東京ゲームショウチーム

情報科学科の松河剛司准教授、水野慎士教授、小栗真弥講師(東京ゲームショウ2022)に情報科学科の学生による11チームが自作のゲームを出展しました。チームの50人ほどの学生は、低学年からの制作、発表スキルの醸成を計画した松河准教授、水野教授、小栗講師の呼びかけで集結した学生で、課題解決型学習により柔軟な発想をゲーム作品に昇華させました。学生の意欲やスキル向上に貢献した活動は、本学のオープンキャンパスやイオンモール長久手で10月に開催した「A-I-T わくわくワールド2022」でも引き続き実施され、一部の制作内容は、本学自由ヶ丘キャンパスで12月に開催された、情報学ワークショップ「Winif

学生たちの 課外活動を表彰

課外活動で優秀な成績を収めた団体・個人(在学生)に対する令和4年度学生表彰の表彰式が3月24日、八草キャンパス愛和会館講堂で行われました。曾我部博之副学長が学生たちに表彰状・記念品を手渡し、努力をたたえました。卒業生を含めた表彰対象者は次の皆さんです。

クラブ活動

- 個人**
競技スキー部 ●柳本理乃
FIS Freestyle World Cup 2023アルプデュエズ大会モーグル女子5位
- 団体**
フェンシング部 ●濱中雅也・土井崇愛・江上大吾・山代屋和史
2022年度全日本学生フェンシング選手権大会(第62回全日本大学対抗選手権大会)第4位
第75回全日本フェンシング選手権大会(団体戦)男子エペ ベスト8
洋弓部 ●普久原恵治・加茂裕人・栗田健聖・浅井大翔
2022年度東海学生アーチェリー連盟王座出場校決定戦(本戦)2位
ASTRON(MMM) ●中納航汰・牧田直樹・岩月蒼
第18回種子島ロケットコンテスト大会 ロケット部門ペイロード有翼滞空種目2位
ASTRON(AIT航空) ●中納航汰・青山凌大
第18回種子島ロケットコンテスト大会ロケット部門ペイロード有翼滞空種目3位

学究的活動

- 個人**
鈴木楓 / 2022年電気学会電子・情報・システム部門大会優秀ポスター賞
池田和樹 / 2022年電気学会電子・情報・システム部門大会優秀ポスター賞
2022年(第40回)電気設備学会全国大会 優秀発表賞
浅田拓未 / 第8回海洋ロボットコンペティションフリースタイル部門最優秀賞
倉橋潤 / 2022年(第40回)電気設備学会全国大会優秀発表賞
菅原陽 / 水中ロボットコンペティション in JAMSTEC 2022フリー部門(メカ)1位
安素羅 / 情報処理学会DCC研究会部門2022年度山下記念研究賞
杉本佳亮 / 情報処理学会第31回デジタルコンテンツクリエーション研究会DCC優秀賞
須崎翔太 / 第10回学生スマートフォンアプリコンテスト最優秀賞・NTTテクノクロス賞
16th International Workshop on Informatics (IWIN2022) Best Presentation Award
廣瀬威仁 / プラスチック成形加工学会第30回秋季大会優秀ポスター賞
- 団体**
一木健・中村明日香・浅田拓未・小林聖英・鈴木翔也 / COBOTTAアイデアチャレンジ最優秀賞
鈴木宏哉・上原温輝・前田綾也・松永一希・藤澤文・島田優希 / ロボカップジャパンオープン2022レスキューシミュレーションリーグ 優勝
津坂亮博・池田和樹・岩崎祐翔・田中蒼・西谷強 / icSmartGrid2022 Best Paper Award
柴田悠仁・石原歩夢・松久奏太 / 第20回情報学ワークショップ(WiNF) 奨励賞9件(順位なし)

その他

- 個人**
松岡知佳 / 国際的論文誌に掲載
・ Carbon Reports
・ ACS Sustainable Chemistry & Engineering
・ ACS omega
・ microporous and mesoporous materials
・ carbon & trends
井川峻吾 / 囲碁プロ棋士として採用

電気電子材料研究室 とよたビジネスフェア に出展

豊田市のスカイホール豊田で3月2、3日に開催された「とよたビジネスフェア」に、今年も本学の研究室が出展しました。出展したのは、電気学科電気電子材料研究室の清家善之教授と同教授が代表社員を務める本学発の企業「la qualab合同会社」です。同研究室では、半導体デバイスの物理洗浄および有機デバイスに関する研究に取り組み、la qualab合同会社



超音波を使用した半導体デバイスの洗浄装置
電気電子材料研究室/la qualab合同会社のブース

は研究室の成果を基に、品質に関する情報を提供し、開発中

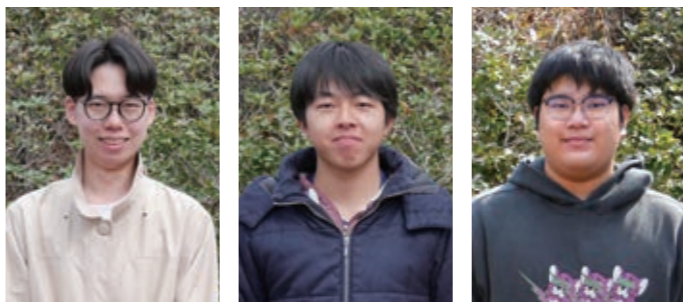
「化学物質の 自律的管理を」 使用責任者説明会

大学の安全な実験・研究環境を確保するための化学物質使用責任者(教職員)説明会が、

の製品や不具合品の分析を請け負っています。
ブースでは、研究室の院生が超音波を使用した半導体デバイスの洗浄を実演し、自動車の街とあって高校生を含む多くの来場者の関心を集めました。

高校教員採用試験に 6人が合格

教職課程で学ぶ学生たちが、令和4年度も高校教員採用試験に合格しました。合格者は6人で、電気学科4年の榊原迅人さん(愛知県公立)、機械学科4年の小松大騎さん(愛知県公立)と杉山莉玖さん(滋



杉山莉玖さん 小松大騎さん 榊原迅人さん

賀県公立)と武中晴生さん(愛知県公立)と岡本泰知さん(愛知県公立)、大学院工学研究科博士前期課程1年の西谷強さん(高知県公立)です。このほか、高校常勤講師などを務める卒業生8人も教員採用試験合格を果たしました。
出身地の工業高校などで取り組んだ教育実習での貴重な体験を教育実習報告会で発表した学生たちは、教職を目指す後輩たちに「途中で投げ出さず、やるからには覚悟を持って取り組んでほしい」などとアドバイスを送っています。



西谷強さん 岡本泰知さん 武中晴生さん

2〜3月にかけて八草キャンパス計算センターを会場に開かれました。
法令で規制された化学物質については安全管理が義務付けられていますが、4月1日施行の法令改正により、今後は化学物質の「自律的管理」が規制の基軸となります。説明会では、安全や衛生に関するさまざまな資格を有する水野典子技術職員が講師を務め、「クリエイトシンプル」を使ったリスクアセスメントなど、教職員に求められる主体的な取り組みを説明しました。



化学物質の自律的管理に理解を深めた使用責任者説明会

2023 学生大防災会議 「伝える防災」

地域防災研究センターでは3月8日、3回目となる学生大防災会議を、「伝える防災」をテーマにオンライン開催しました。

本学の学生防災研究会「学防(まなぼう)ラボ」の学生たちが企画し、各地の大学生や地域の防災担当者ら51人(運営を含む)が参加しました。横田崇センター長らのあいさつの後、学防ラボによる「防災ものづくり」「小中高校での防災教育」や、学防ラボ高等部が新設された愛工大名電高校の生徒たちの防災活動について報告がありました。続いて、東日本大震災・原子力災害伝承館の葛西優香さん、認定NPO法人愛知ネットの松原優子さんの社会人メンバーによる発表があり、これらを受けた3つのグループディスカッションで、「防災を楽しむには?」のテーマで意見交換しました。「ローリングストック(日常生活で消費しながら備蓄すること)する際、自分の好物を備蓄品に含め、味わいながら更新しては」「100均グッズなどを活用し、お金のからない防災対策を考えた」などと途切れることなく意見が出され、地域の防災力を楽しく高める方策について認識を新たにしました。



オンラインで開催された学生大防災会議2023

備蓄防災食 アレンジレシピを配布

自由ヶ丘キャンパスのクッキングコミュニケーションサークルヒルズは、災害用の備蓄食品が捨てられてしまわないようにと、豊田市循環型社会推進課、農業集団「夢農人とよた」と連携して、備蓄防災食アレンジレシピを考案。2月4日に豊田市のスカイホール豊田で開催された「よた防災フェスタ」でレシピの冊子を配布し、貴重な食品を無駄にしないよう呼びかけました。



機能材料研究室が セルビアの研究者と 共同研究

機械学科の機能材料研究室(松井良介准教授)は、JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)の「さくらサイエンスプログラム」の助成を受けて、2月20日〜3月12日の期間、セルビア共和国・クラグイェバツ大学のウラジミール・デュニツ



中部国際空港でデュニツ准教授(左端)を出迎えた研究室の学生ら

准教授を招聘し、共同研究「実験と解析による形状記憶合金の破壊機構解明」に取り組みました。

同研究室は、形状記憶合金の高機能化と用途拡大のための研究を行っています。招聘したデュニツ准教授は、形状記憶合金が持つ特徴的で複雑な性質を踏まえ、力学的な解析を行う独自手法を提案している、この分野の第一人者です。同研究室では実験を中心に研究を行っており、共同研究が発展すれば、互いの得意分野を生かした研究成果が期待されます。すでにデュニツ准教授と松井准教授は共著論文を発表しており、今回の招聘によって共同研究がより活性化することが

2023年度 入試結果

入試制度別の入試結果はこちら▶



学部	学科	専攻	募集人員	志願者	合格者
電気学科	電気工学	電気工学	135	1,224	678
		電子情報工学	135	1,418	769
	電子情報工学	135	1,418	769	
応用化学科	応用化学	80	824	600	
	バイオ環境化学	50	330	232	
工学部	機械学科	機械工学	160	1,894	876
		機械創造工学	90	749	454
	土木工学科	土木工学	70	661	352
建築学科	防災土木工学	45	390	225	
	建築学	140	1,262	590	
経営学科	住居デザイン	80	581	283	
	経営情報システム	80	400	236	
経営学部	スポーツマネジメント	50	126	80	
	コンピュータシステム	120	1,255	348	
情報科学部	メディア情報専攻	80	703	221	
	合計		1,315	11,817	5,944

※合格には他専攻合格を含む。 ※編入含まない。

見込まれます。研究ディスカッションには機械学科の武田巨平准教授も参加し、共同研究の推進に向けて具体的な計画を立てることができました。

これらの研究活動に加え、トヨタ博物館の見学や、形状記憶合金を研究する北九州市立大学の長弘基准教授のもとを訪問するなど、いくつかのプログラムも実施しました。

共同研究の成果として、参加した学生は「デュニツ准教授と3週間を同じ研究室で過ごし、じっくりと国際交流を図ることができました。特に研究内容を説明するときや、実験を一緒に行うときなどは英語でコミュニケーションをとる難しさを実感するなど、貴重な経験ができました。休日には一緒に観光に出かけたりして、日本の文化や歴史を知っていただくよう積極的にコミュニケーションをとることも掛けました」と話しています。



一緒に実験を行う様子

詳細は必ず募集要項で確認してください

2024年度入試概要・入試日程

入試区分	入試制度	選抜方法	出願期間	試験日	合格発表日
一般選抜	前期日程A方式 前期日程Aw方式(最高得点重視型) NEW	筆記試験(記述式/3教科)で判定	1月5日(金)~1月16日(火)	1月27日(土)	2月8日(木)
	前期日程M方式(マークセンス式)	筆記試験(マークセンス式/3教科受験)のうち 高得点2教科で判定		1月28日(日)	
	後期日程M方式(マークセンス式)	筆記試験(マークセンス式/3教科受験)のうち 高得点2教科で判定	1月29日(月)		
共通テスト 利用入試	共通テスト1期C方式(3教科利用)	令和6年度大学入学共通テスト(3教科3科目)で判定	1月5日(金)~1月19日(金)	3月4日(月)	3月14日(木)
	共通テスト2期C方式(2教科利用)	令和6年度大学入学共通テスト(2教科2科目)で判定	2月15日(木)~2月26日(月)	3月4日(月)	3月14日(木)
	共通テスト3期C方式(3教科利用)	令和6年度大学入学共通テスト(3教科3科目)で判定	3月1日(金)~3月6日(水)	3月4日(月)	3月20日(水)
共通テストプラス	共通テストプラスA方式	2024年度前期日程A方式(1教科1科目)+ 令和6年度大学入学共通テスト(2教科2科目)で判定	1月5日(金)~1月16日(火)	独自試験はなし	2月16日(金)
	共通テストプラスM方式	2024年度前期日程M方式(1教科1科目)+ 令和6年度大学入学共通テスト(2教科2科目)で判定			
学校推薦型選抜	一般推薦	「推薦書」、「調査書」、「出願要件確認書」、「小論文」、「面接(口頭試問を含む)」の総合判定	11月1日(水)~11月6日(月)	11月12日(日)	12月1日(金)
	スポーツ推薦	「推薦書」、「部活動実績」、「調査書」、「小論文」、「面接(口頭試問を含む)」の総合判定		11月11日(土) 必着	
	女子学生推薦	「推薦書」、「調査書」、「小論文」、「面接(口頭試問を含む)」の総合判定			
	工学部推薦	「推薦文書」、「調査書」、「志望理由書」、「面接(口頭試問を含む)」の総合判定			

※ 出願に関して、学校推薦型選抜以外の入試は締切日消印有効です。「ネット出願」を利用して、出願書類は出願期間内に入試広報課まで郵送する必要があります。出願確認票・封筒は、ネット出願専用サイトから印刷してください。郵便事情を考慮して、出願手続き(登録)および入学検定料の支払いを行ってください。

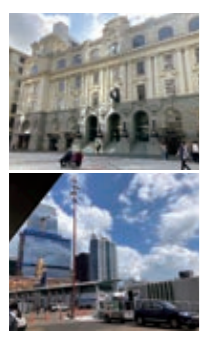
入試に関するお問い合わせ:フリーダイヤル0120-188-651

2022年度 春季海外語学研修

2022年度の春季海外語学研修は、コロナ禍による入国制限が緩和された状況を考慮して、ニュージーランド・オークランド市のE.F.(Education First)オークランド校で現地開催によるプログラムを実施しました。

2月24日〜3月11日の日程で、2、3年生男女合わせて5人が研修に参加しました。総計学習時間17時間20分のプログラムを通じ、基礎語学のレッスンやコミュニケーション技術の向上などに努めました。

参加した学生からは、「他の国の生徒とコミュニケーションを取りやすかった点があった」「グループで物語を考えて発表するなど、楽しみながら英語のスキルを上げることができた」と感じています。アンケートに対して全員がプログラムへの参加を自信を持って友人に薦めたいと回答しました。



多くの学生が 各所で受賞! 活躍しています

E&G学生デザインコンテストで佳作



技術CAMP
ハッカソンで最優秀賞



岡崎産木材を活用した学生建築デザインコンテスト優勝

種子島ロケットコンテスト大会で審査員特別賞

今井大河さん
文化系クラブ「ASTRON」

コロナ禍を超え 674人が巣立つ

名電高校の卒業証書授与式は3月1日、同校喬徳館で行われ、科学技術科148人、情報科学科39人、普通科487人の合わせて674人が学び舎を巣立ちました。

各科・コースを代表して普通科スポーツコースの丹羽優斗さんに荻原哲哉校長から卒業証書が手渡されました。

荻原校長は式辞で、コロナ禍に翻弄された卒業生の3年間の振り返り、その中で仲間を失いながら夏の甲子園で勝ち上がった野球部の活躍などに触れて、「仲間とともに、大きな目標に挑戦する人生を皆さんには期待する」と語りかけました。

続いて後藤泰之理事長が、3年間を無事終えた卒業生たちに敬意を表しながら、「生涯チャレンジ精神を持ち続けていただきたい」と励ましの言葉を贈りました。

これを受け、卒業生を代表し

117人が卒業

名電中学校の卒業証書授与式は3月15日、淳和記念館で開かれ、117人が卒業しました。卒業生を代表して猪飼倫太郎さんが荻原哲哉校長から卒業証書を受けました。

荻原校長は式辞の中で、まもなく高校生活が始める卒業生たちに、「主体的な学び」の意味を説き、「失敗を恐れず、高い目標に全力で挑戦する高校生であってほしい」と呼びかけました。後藤泰之理事長も挨拶で、コロナ禍にあつて部活動で活躍



荻原哲哉校長と猪飼倫太郎さん

高校に 641人が入学

高校の令和5年度入学式は喬徳館で行われ、普通科502人、専門学科(科学技術科、情報科学科)139人の合わせて641人が入学しました。荻原哲哉校長は式辞で、成年年齢が1年前に18歳に引き下げられたことなどに触れ、「責任と他者への思いやり。この二つが大人への旅立ちの条件です。社



卒業証書を受ける猪飼倫太郎さん

中学には109人

中学校の令和5年度入学式は淳和記念館で行われ、109人が入学しました。



宣誓する鳥居気志さん

人が入学しました。

入学許可宣言に続き、荻原哲哉校長が式辞で、作家の司馬遼太郎が21世紀を生きる少女のために著した文章を例に挙げながら、「仲間とともに切磋琢磨する中で、大人への成長を遂げるとともに、学校という場所では味わえない多くの達成感や感動を手にしてほしい」と呼び掛けました。続いて後藤泰之理事長が挨拶し、「自分の描いた夢や希望の実現に向けて一生懸命努力して、大いにチャレンジしてください」と期待する言葉を述べました。

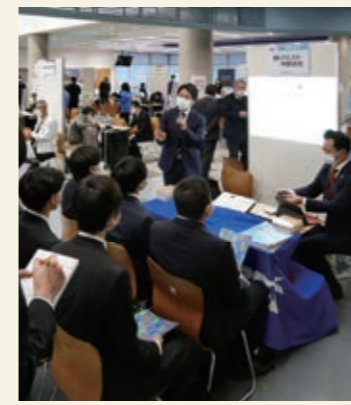
これにこたえ、新入生を代表して森川風希さんが「大切な仲間と学校生活を楽しみ、努力し続けることを誓います」と宣誓しました。



宣誓する森川風希さん

Meiden 中学・高等学校ニュース

Senior High School & Junior High School NEWS



愛名会企業研究会

愛名会企業研究会など開催

学園の後援組織「愛名会」会員企業が出席する愛名会企業研究会が2月16日、八草キャンパスA-I-Tプラザなどで開かれました。昨年の10月(第1回)と11月(第2回)に続く分散開催の3回目、就活解禁を前にした学部3年生・院1年生とともに、多くの学部1・2年生も参加しました。

開会式で土橋繁樹愛名会事務局長、内田敬久キャリアセンター長があいさつした後、学生たちが企業ブースを訪問し、熱心に説明に耳を傾けました。令和4年度は計790社が出展し、延べ3,724人の参加があり、これまで以上に学生の就活に向けての意識の高さが見受けられました。

自由ヶ丘キャンパスでも2月13日に学内企業研究会が開かれました。また、瑞若会(大学同窓会)と愛名会が主催する瑞若会企業研究会が2月21・22日(A-I-Tプラザ)、2月24日(オンライン開催)の日

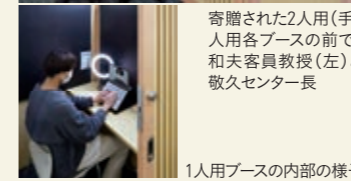


山田客員教授がキャリアセンター個別ブースなど奇贈

山田客員教授がキャリアセンター個別ブースなど奇贈

学生の就職(キャリア)支援の力になればと、山田和夫客員教授(元工学部建築学科教授・現総合技術研究所客員教授)から、八草キャンパスのキャリアセンター内に「個別ブース」などが奇贈されました。

個別ブースは1人用と2人用の2タイプがあり、木造のボックス型で吸音材を備えています。昨今増えてきているWEB選考(面接)やWEBインタビューシンプのための学生サポートに活用されます。このほかにもセントラルテラスに設置のデジタルサイネージ(キャリア支援に関する広報・周知に活用)と、キャリアセンター内のパーティションが奇贈されました。



1人用ブースの内部の様子

愛知工業大学資格講座がパワーアップ!

キャリアセンター主催の学内資格対策講座の開講講座が大幅に増加、対面だけでなく、WEBによる講義を導入するなど、大学で学んだ知識を活かしながら、自分のスキルを証明するものとして資格取得を目指す学生たちの意欲をしっかりと後押しします。WEB講座の導入により、八草キャンパス、自由ヶ丘キャンパスのどちらに通っていても同じ講義を受講できるほか、自宅で何度でも視聴できるため、突然の体調不良等による欠席であっても講義に後れを取ることなく対応が可能となりました。キャリアセンターでは、資格取得の結果のみならず、挑戦を通して得た経験や気づきを根拠として、学生が自信をもって自己PRできるようサポートしています。

宅地建物取引士	2級建築士 (学科対策/フレキシブル/ 1~3年生向け)	2級建築士 (学科対策アカデミック/ 4年生向け)	1級建築士 (学科対策導入/ 4年生向け)	1級建築士 (学科対策導入/3年生向け)
CAD利用技術者 (2次元CAD2級/ 3次元CAD2級・準1級)	TOEIC L&R500点	インテリア コーディネーター 1次・2次対策	2級建築 施工管理技士 (11月試験向け1次対策アカデミック)	2級土木 施工管理技士 (10月試験向け1次対策アカデミック)
福祉住環境 コーディネーター2級 (7・11月試験)	秘書検定 3級・2級・準1級 筆記試験対策	SPI試験対策	公務員 (警察官・消防官・市役所等)	ITパスポート
技術士 (第1次試験 基礎科目・適性科目)	日商簿記検定3級	防災士養成研修	※自由ヶ丘キャンパス 専用講座も開講	

キャリアセンターでは、学生からの就職活動に関する質問について、夜間や週末、夏季休業などの長期休業中でも対応できるよう、4月からチャットボットの運用を始めました。

※特定の企業に関する情報など個人的な質問にはキャリアセンタースタッフが個別に対応します。



クラブ活動報告

※学生・生徒の所属・学年は取材当時のものです。



大学●競技スキー部

第68回中部日本学生スキー選手権大会が3月3～5日に白馬岩岳スノーフィールドおよび白馬クワントリ―競技場(スノーハーブ)で開催され、本学競技スキー部が男子総合2連覇を達成しました。

中部地区8大学の60選手が参加し、アルペンとクロスカントリーのそれぞれ3種目で競いました。クロスカントリーでは主将の林田直樹(経営学科3年)が2種目



上/男子総合2連覇の競技スキー部クロスカントリー2冠の林田
下/スーパー大回転優勝の野口

- アルペン
 - スーパー大回転/優勝:野口幸太郎、5位:藤原純之介(経営学科2年)
 - 大回転/4位:堀井響(情報科学科2年)
 - 回転/6位:藤原純之介
- クロスカントリー
 - 10kmフリー/優勝:林田直樹
 - 10kmクラシカル/優勝:林田直樹
 - 3km×4リレー/優勝:愛知工業大学=林田直樹、鈴木駿輔(電気学科2年)、石原光晟(経営学科1年)、牧野寧樹(電気学科1年)

競技スキー部が中部日本学生スキー総合2連覇!

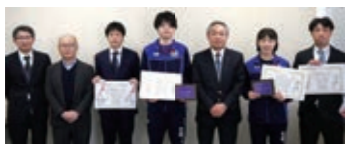
優勝したほか、アルペンでは野口幸太郎(経営学科2年)がスーパー大回転で優勝するなど、全6種目すべて入賞し、2年連続の総合優勝へとつなげました。主な成績は以下のとおりです。

学園表彰

第18回全日本学生選抜卓球選手権大会(11月26～27日・北海道苫小牧市総合体育館)で初のアベック優勝を飾った大学卓球部に対し、学園は学園表彰を行って努力をたたえました。愛名会からお祝いがありました。

男子は谷垣佑真(1年)、女子は岡田琴菜(2年)が、ともに初優勝しました。表彰は3月2日に八草キャンパス本部棟で行われ、後藤泰之理事長が谷垣・岡田両選手と鬼頭明総監督、森本耕平監督に賞状などを手渡しました。後藤理事長が「来年度に向け、またしっかり練習を積んで」と激励したのこたえ、谷垣・岡田両選手は「この結果に満足せず、今

後も頑張っていきます」「日々指導していただいている監督やチームメイト、応援してくださる皆様の力です」とお礼の言葉を述べました。鬼頭総監督も「大会1か月前の全日本大学総合卓球選手権でベスト8だった谷垣と3位の岡田が、リベンジを果たしてくれました。谷垣は1年生、岡田もまだ2年生で、これから成長してくれると思いますので、サポートすべく頑張ってください」と今後ますますの活躍を誓いました。



後藤理事長らを囲んで、部員・指導者たち

中高卓球部を学園表彰

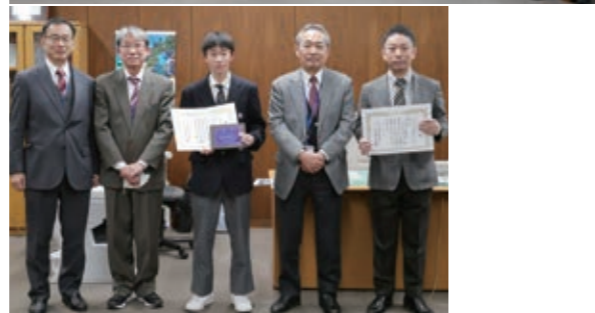
学園は1月30日、インターハイなど令和4年度の全国大会や国際大会で優勝を飾った高校・中学卓球部に対して学園表彰を行い、快挙をたたえました。名古屋電気学園愛名会と高校同窓会からもお祝いがありました。

表彰は高校の校長室で行い、後藤泰之理事長から選手と指導者に賞状などを手渡しました。後藤理事長は「ほかの選手たちより一滴でも多く汗をかき、その積み重ねが成果となった。さらなる上を目指してほしい」と激励しました。これに

こたえて選手たちが「今の結果に満足せず頑張っていきたい」などとお礼を述べ、今枝一郎高校卓球部監督が「連覇が続いているとはいえない厳しい戦いばかり。チーム名電として戦っていきたい」、真田浩二中学卓球部監督が「(卓球界の)若返りが急速に進み、ここにいる選手たちも数年が勝負。毎日精進していきます」と、それぞれ活躍を誓いました。

学園表彰の対象となった大会・選手は次の通りです。

- 全国高校総合体育大会卓球競技(7月30日～8月3日・愛媛県宇和島市)
 - 男子学校対抗優勝、男子シングルス優勝・鈴木颯(高校3年)、男子ダブルス優勝・鈴木颯/萩原啓至(高校2年)
- アジアジュニア・カデット選手権ビエンチャン大会(9月1～6日・ラオス)
 - U-19男子ダブルス優勝・坂井雄飛(高校1年)
- JOCジュニアオリンピック全日本卓球選手権大会カデットの部(14歳以下男子シングルス優勝・持田陽向(中学2年))



後藤理事長を囲み、学園表彰を受けた選手・指導者ら(上が高校、下が中学)

高校セブ島海外研修

3月22～30日に「セブ島海外研修」に行ってきました。1、2年生の合わせて17人が参加し、平日は英語のマンツーマンレッスンやグループレッスン、週末は島々をボートで巡るアイランドホッピングやゴミ山での



フィールドワーク、現地校の生徒との交流など、非常に充実した9日間を過ごしました。フィリピンという異国の地で生活に、到着直後はカルチャーショックを受ける生徒も少なくありませんでしたが、時間が経つことに楽しみ方がわかってきて、多くのことを吸収。実りある海外研修となりました。



専門学校は92人が卒業

専門学校の卒業証書授与式は3月17日、同校4階で行われました。飯吉僚校長から卒業生92人の代表の福田一真さん(高度情報処理科)に卒業証書が手渡されました。

飯吉校長は、式辞で「層の研鑽努力を積み、社会の発展に貢献できるエースになられることを心から願っています」と呼びかけました。続いて後藤泰之理事長が挨拶で「これからも学ぶことを絶え間なく続けてほしい」と期待する言葉を述べました。



卒業証書を受ける福田一真さん

太田稔彦豊田市長からの祝文披露、学校表彰、外部団体表彰の後、卒業生代表の川村治史さん(高度情報処理科)が「一人一人が思い描く将来の実

専門学校ニュース

現のため、まい進していきたい」と謝辞を述べました。



式辞を述べる飯吉僚校長



謝辞を述べる川村治史さん

65人が仲間入り

専門学校の令和5年度入学式は同校4階の大教室で行われ、65人が入学しました。国歌斉唱の後、飯吉僚校長が式辞で「着実に資格を取るなどして、実践力と自信を身につけていただきたい」と期待する言葉を述べました。続いて後藤泰之理事長が挨拶で「専門分野だけにとらわれず、的確な判断ができるような人間力を養ってほしい」と呼びかけ、太田稔彦豊田市長からの祝辞も披露されました。

新入生を代表してメカトロニ

令和5年度を最後に入学者募集を停止

愛知工業大学情報電子専門学校は、少子化による18歳人口の減少、4年制大学への進学志向の強まりなど厳しい社会情勢が続く、今後もその厳しさはさらに増すことから、令和5年度の新入生を最後に入学者の募集を停止することになりました。

在学する学生に対しては、卒業するまでの予定した授業、就職や編入学の進路指導など、教職員が今まで通り責任を持って対応します。在校生が全員卒業した後、閉校する予定です。



誓いの言葉を述べる柴田蓮さん

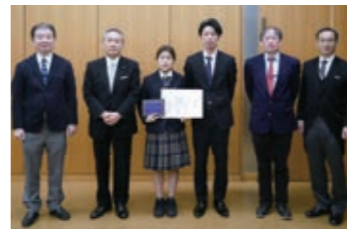
「新しい知識を学び、実社会に貢献できるような使命感を持って学んでいきたい」と誓いの言葉を述べました。

高校フェンシング部を学園表彰

学園は3月15日、第30回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会（1月5〜8日・東京都駒沢オリンピック公園体育館）のカデ女子サーブルで金高生幸（高校1年）が優勝を飾った高校フェンシング部に対し、学園表彰を行った栄誉をたたえました。愛名会と高校同窓会からも祝いがありました。

同大会で名電高校・中学の選手たちは、カデ女子サーブル優勝の金高がジュニア女子サーブルでも準優勝したほか、ジュニア男子エベの弓長昇主（高校3年）とカデ男子フルールの林川琉偉（高校1年）がそれぞれ準優勝するなど、優秀な成績を収めました。

学園表彰は高校で行われ、後藤泰之理事長が選手・監督に賞状などを手渡して「世界に向かって飛躍してほしい」と激励しました。これにこたえ、金高と富田弘樹監督が今後の国際大会やインターハイでの活躍を誓いました。



金高選手と後藤理事長、指導者ら

林川、金高ら世界の舞台で活躍
3月にウズベキスタンのタシケントで開催されたアジアジュニアカデフェンシング選手権大会に、学園から林川琉偉（高校1年）、金高生幸（高校1年）、奥井咲之祐（中学3年）の3選手が出場。林川は団体戦カデ男子フルールで銀メダルを獲得したほか、個人戦でもカデ男子フルールで銅メダルを獲得しました。金高は団体戦ジュニア女子サーブルで銅メダルを獲得したほか、団体戦カデ女子サーブルにも日本の二員として出場し5位の成績を収めました。

金高は4月にブルガリアで開催の世界ジュニア・カデ選手権の日本代表に選ばれました。

大学競技スキー部 柳本が世界最高成績

フリースタイルスキー世界選手権（2月25〜26日、ショージア・バクリア）に出場した競技スキー部の柳本理乃（4年）が、モーグルで表彰台まであと一歩の4位、デュアルモーグルで7位と、いずれも日本勢最高の成績を収めました。25日のモーグルでは、3位と僅差で表彰台を逃したものの、決勝の1、2回とも全体1位となるエアの得点をマークするという堂々たる滑りを披露しました。

柳本は、12月に開幕した今季のワールドカップ初戦（フィンランド）で8位に入賞したのを皮切りに、2月までのワールドカップ10戦全て10位以内の成績を収め、2月4日のアメリカ大会では今季最高の4位に入賞しました。この結果を受け、初の世界選手権代表に選ばれました。

学園は3月23日、柳本が所属する大学競技スキー部に対して学園表彰を行いました。名古屋電気学園愛名会からも祝いがありました。表彰は八草キャンパス本



学園表彰を受けた柳本選手ら

部棟で行われ、この日に卒業式を終えた柳本と同部の西裕之監督に後藤泰之理事長から賞状などが手渡されました。後藤理事長から「この経験を生かし、一つでもいい成績を上げてほしい」と励まされた柳本は、在学中に受けた支援に感謝を述べたうえで「2026年のオリンピックでは表彰台に立てるように頑張ります」と誓いました。

柳本は1年生の時に秋田県で開催されたワールドカップで5位に入賞し、世界への扉をこじ開けました。昨季ワールドカップでは初の表彰台に上り、北京2022冬季オリンピック出場へあと二歩まで迫りました。学園表彰で、西監督は「五輪出場を逃した悔しさをばねに世界選手権の代表に選ばれ、良い形で大学生活を終えることができました」と教え子の努力をたたえました。

田学園に追いつかれて2対2のタイに並んだ時点で、王座の行方は対戦中の4番中村に委ねられました。中村と相手の芝拓人選手は互いにゲームを取り合い、最終の第5ゲームに突入。中村は先にマッチポイントを握られた後、果敢に4連続得点して11-10と逆転しました。両者一歩も譲らない激戦の末、惜しくも13-11で勝利を逃しました。

一方、第24回全国中学選抜卓球大会は3月25〜26日、宮城県のセキスイハイムスパーアリーナで開催されました。中学卓球部も、決勝でライバル校の野田学園と対戦。1番の持田陽向（2年）と3番ダブルスの郡司景斗（1年）／月原弘暉（1年）が勝利して2対2のタイにもつれ込みましたが、最後は野田学園に勝ちを譲りました。

中学・高校卓球部 選抜卓球大会は中高ともに準優勝

3月に開催された卓球の全国選抜大会で、名電高校・中学の卓球部がいずれも準優勝しました。高校は大会8連覇、中学は3連覇を目指して試合に臨み、どちらもあと一歩の差で王座を譲る形となりました。第50回全国高校選抜卓球大会は3月


25〜27日、豊田市のスカイホール豊田で開催されました。決勝の相手は、5大会連続で同一カードとなる山口県の野田学園です。名電は、1番の萩原啓至（2年）と3番ダブルスの中村煌和（2年）／萩原が勝利。試合は2台同時で進行し、野

活躍

たくさんのお客様が各所で活躍しています。

※学生の所属・学年は取材当時のものです。


愛知工業大学
情報学ワークショップ (WiNF2022) で奨励賞



情報科学科1年
柴田悠仁さん、
松久奏太さん、
石原歩夢さん

「障子をインタフェースとするインタラクティブコンテンツの開発」で受賞

愛知工業大学
演算増幅器設計コンテストで入賞



光子デバイス研究室
清水智仁さん
(電気学科4年)、
新田頼豪さん
(大学院博士前期課程1年)

清水さんは、シミュレーションの部の部門2で3位と部門3で4位。新田さんはシミュレーションの部の部門1で5位

愛知工業大学
大学生サイバーボランティアの活動で愛知県警から感謝状



染木綾子さん
(情報科学科2年)、
高橋柊也さん
(情報科学科1年)

広報啓発動画のコンテストに参加して「ランサムウェア対策」に関する動画を作成


愛知工業大学
情報処理学会 山下記念研究賞を受賞



大学院博士前期課程2年
CGメディア研究室
安素羅さん

「立体的映像を用いたオンライン参加型プロジェクトマッピングの開発」で受賞


愛知工業大学
自動車技術会の大学院研究奨励賞を受賞



大学院博士前期課程2年
高分子化学研究室
深本健司さん

「易リサイクル性・オールバイオ(植物由来)ベースエラストマーの開発」で受賞

愛知工業大学
東海ファジィ研究会で最優秀発表賞



大学院博士前期課程2年
ロボット研究室
福井卓河さん

「e-Paper上の可変格子状マーカの撮影による魚眼レンズ校正システムの構築」で受賞

愛知工業大学
学生スマートフォンアプリコンテストで最優秀賞



大学院博士前期課程1年
ユビキタス情報処理研究室
須崎翔太さん

魚の掴み取りに見立てて遊ぶアプリ「沈めて掴む」で受賞

愛知工業大学
電気設備学会学生研究発表会で優秀賞



電気学科4年
電力システム工学研究室(雷田研)
長谷川壮良さん

「直流アーク発生時の電流特性の一考察」で受賞

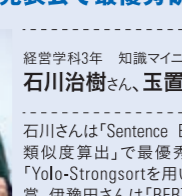
愛知工業大学
電力系統技術研究会で電力系統技術委員会奨励賞



大学院博士前期課程1年
電力システム工学研究室(七原研)
山田康輝さん

「インバート電源大量導入時における電力系統の電圧制御一背後インピーダンスに応じた適切なインバート効率の選定」で受賞

愛知工業大学
日本ハンドボール学会賞を受賞



情報科学科3年
ビジュアル情報処理研究室
内木正統さん

「ハンドボールのゲーム分析支援アプリの提案」で受賞

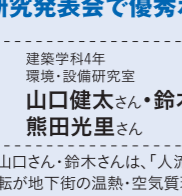
愛知工業大学
日本建築学会大会学術講演会で若手優秀発表賞



大学院博士前期課程1年
建築社会システム研究室
鷲尾佳さん

「まちの空間として新たに生まれた廃線跡地の活用方法から見た建築形態に影響を与える要因に関する研究 一名古屋鉄道三河線を事例として」で受賞

愛知工業大学
空気調和・衛生工学会中部支部の学術研究発表会で優秀ポスター賞



建築学科4年
環境・設備研究室
山口健太さん・鈴木瑛海さんのチームと
熊田光里さん

山口さん・鈴木さんは、「人流・屋外気象・空調設備の運転が地下街の温熱・空気質環境に及ぼす影響について」で受賞。熊田さんは「水蓄熱式空調システムを利用した上げDR実施時の熱源運転時間決定手法検討」で受賞

愛知工業大学
デジタルコンテンツクリエイション (DCC) 研究会でDCC優秀賞



大学院博士前期課程1年
メディア検索処理研究室
上野延典さん

「ハイブリッド深層学習モデルを用いた果物画像からの糖度推定アプリケーションに関する検討」で受賞


愛知工業大学
電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会で電気学会優秀論文発表賞



大学院博士前期課程2年
レーザー研究室
佐藤大輝さん

「2ビーム照射を用いた自己結合型速度計の速度測定限界向上に関する研究」で受賞

愛知工業大学
日本建築学会大会学術講演会で若手優秀発表賞



大学院博士前期課程1年
建築社会システム研究室
鷲尾佳さん

「まちの空間として新たに生まれた廃線跡地の活用方法から見た建築形態に影響を与える要因に関する研究 一名古屋鉄道三河線を事例として」で受賞

愛知工業大学
日本設備管理学会東海支部の学生研究発表会で最優秀研究奨励賞ほか



経営学科3年 知識マイニング研究室
石川治樹さん、玉置隼佑さん、伊豫田彬さん

石川さんは「Sentence BERTを用いた特許文書間の類似度算出」で最優秀研究奨励賞。玉置さんは「Yolo-Strongsortを用いた人流の算出」で支部長賞。伊豫田さんは「BERTを用いた企業不祥事記事からの法人名抽出」で支部長賞

愛知工業大学
情報処理学会全国大会で学生奨励賞



ビジュアル情報処理研究室
森富稀さん
(情報科学科4年)、
山口陽功さん
(同2年)

森さんは「放送用パレーボール競技映像におけるアタッカー推定手法の提案」で受賞。山口さんは「指関節の距離と角度による指文字認識手法の検討」で受賞

愛知工業大学
空気調和・衛生工学会中部支部の学術研究発表会で優秀ポスター賞



建築学科4年
環境・設備研究室
山口健太さん・鈴木瑛海さんのチームと
熊田光里さん

山口さん・鈴木さんは、「人流・屋外気象・空調設備の運転が地下街の温熱・空気質環境に及ぼす影響について」で受賞。熊田さんは「水蓄熱式空調システムを利用した上げDR実施時の熱源運転時間決定手法検討」で受賞

愛知工業大学	愛知工業大学名電高等学校	愛知工業大学名電中学校
 <p>豊田市八草・名古屋自由ヶ丘にキャンパスをもち、3学部7学科14専攻と大学院2研究科を有する工科系総合大学です。「自由・愛・正義」の建学精神の下、1959年に開学して以来、学生のチャレンジ精神を全面的にバックアップし、ものづくり産業の第一線で活躍できる人材を育成しています。</p> <p>ホームページは こちら▶</p> 	 <p>愛知工業大学を軸に国立公立や難関私立大学を目指す普通科(特進・選抜コース、普通コース、スポーツコース)と、愛知工業大学各専攻と連携した「STEAM教育」を行う科学技術科・情報科学科があり、自分に合った学科・コースで学習します。最先端の学びにふれる授業に加え、ハイレベルな部活動も人間形成の一助になっています。</p> <p>ホームページは こちら▶</p> 	 <p>主要科目の時間をたっぷり取り、私立校ならではのバラエティ豊かな副教材を併用して、6年間をフルに使ったカリキュラムで学力を養成する「男女共学中高一貫校」です。学内にどまらず、中高大の学園ネットワークを活かし、教科書の範囲を超えた授業で自然科学に対する興味関心を高めます。</p> <p>ホームページは こちら▶</p> 

Information

愛知工業大学	名電高等学校	名電中学校
<p>オープンキャンパス2023</p> <p>第1回:7月15日(土)16日(日) 八草キャンパス・自由ヶ丘キャンパス</p> <p>最新の情報はホームページでご確認ください▶</p>  <p>【主な予定プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専攻別デモンストレーション 大学概要説明 入試説明会・推薦入試対策講座 個別入試相談コーナー フリードリンクコーナー 学内設備公開 ★保護者説明会 ※★印は八草キャンパスのみ <p>第2回:10月7日(土) 大学祭と同時開催 八草キャンパス</p> <p>個別入試相談コーナー、大学概要説明、入試説明・推薦入試対策講座、資料配布など</p> 	<p>体験入学</p> <p>8月28日(月)29日(火)</p> <p>最新の情報はホームページでご確認ください▶</p>  <p>【主な予定プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●科学技術科体験 ●情報科学科体験 ●普通科体験 ●施設内自由見学 ●部活動体験(開催日時が異なる場合があります。) ウエイトリフティング部、剣道部、ゴルフ部、サッカー部、吹奏楽部、ソフトテニス部、チアリーディング部、テニス部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部、フェンシング部、陸上競技部など 	<p>学校説明会</p> <p>7月8日(土)</p> <p>最新の情報はホームページでご確認ください▶</p>  <p>【主な予定プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体験学習 算数・理科・英会話・メカニカルアーツ部 ●学校紹介・入試説明 本校概要、生徒の様子、令和6年度入試についての説明 ●個別相談(希望者) 

※時間等変更になる場合があります。

Schedule 2023年6月~10月

※スケジュールは変更になる場合があります。詳細については、各設置校へお問い合わせください。

	愛知工業大学	名電高等学校	名電中学校
6月		1日 芸術鑑賞会 26日 期末考査(～30日)	27日 期末考査(～29日:中学)(～30日:高校)
7月	5日 【入試】大学院工学研究科 8日 【入試】大学院経営情報科学研究科 15・16日 オープンキャンパス	12日 三者面談(～21日) 20日 終業式 24日 カナダ語学研修(～8月7日)	8日 学校説明会 11・12日 陶芸教室(中1・2) 20日 終業式 28日 オーストラリア語学研修(～8月4日)
8月	1日 期末試験(～7日) 23日 成績発表・成績発送	21日 全校出校日 28・29日 体験入学	21日 全校出校日
9月	20日 在学生オリエンテーション 21日 秋季卒業式・入学式 22日 授業実施日 30日 【入試】大学院経営情報科学研究科	1日 始業式 15日 文化祭 27日 体育祭 30日 学校・入試説明会	1日 始業式 16日 学校祭 28日 体育祭
10月	5日 大学祭(～8日) 7日 オープンキャンパス	10日 中間考査(～13日) 25日 授業参観	10日 中間考査(～12日:中学)(～13日:高校) 13日 写生会(中学) 24日 野外教育活動(中2)(～26日)